

0101	1A	990	001
------	----	-----	-----

尿一般物質定性半定量検査

[随時尿]

urinalysis, qualitative/semiquantitative

患者同意について

検査結果に影響を与える臨床情報

尿は同一個人でも排泄量, pH, 比重, 浸透圧などが著しく変化すること, 含有成分の生理的変動幅が大きいこと, 細菌増殖などにより含有成分が変質しやすいこと, 服用薬剤や飲料含有成分が大量に排泄されることなど, これらのことより検査結果に偽りの情報が加味されやすいといった問題があります。

オーダーボタン名(検体)

0101	001	尿定性
------	-----	-----

検査予約

至急オーダー	可
--------	---

検査オーダーに関する注意事項

患者の検査前準備

検体採取のタイミング

採取容器・検査材料

02	ト	先細プレーン(黄)		
採取材料	早朝尿	採取量	11.5 mL	
測定材料		測定必要量		

01	ト	先細プレーン(黄)		
採取材料	尿	採取量	11.5 mL	
測定材料		測定必要量		

0101	1A	990	001
------	----	-----	-----

尿一般物質定性半定量検査

[随時尿]

urinalysis, qualitative/semiquantitative

採取容器について

検体採取について

中間尿を採取
高粘度の検体は検査不可
少量の検体（1 mL未満）は不可
蓄尿は不可

採取後検体の取扱い

室温保存

検体搬送について

採取後ただちに搬送

採取検体の保存条件

保存検体種	優先 保存条件	保存条件1		保存条件2		保存条件3	
		温度	安定性	温度	安定性	温度	安定性
01	翌日保存不可	保存条件1	temp_uns 		 		

受入不可基準

溶血	検体凝固	強乳び	採取量過不足	採取容器違い
			不可	
尿材料違い	冷蔵保存なし	遮光保存なし	開栓	黄疸
不可				

検査に要する時間(生理検査)

再検査・追加検査の対応可能日数

検体採取当日のみ

検体採取に関する注意事項・検査の実施に関する注意事項

検査機器US-3500（栄研化学）

検査所要日数当日報告

0101	1A	990	001
------	----	-----	-----

尿一般物質定性半定量検査

[随時尿]

urinalysis, qualitative/semiquantitative

検査部門・委託先	
----------	--

検査部門(平日時間内)	外来棟2階 尿検査室
-------------	------------

検査部門(時間外・休日)	中央診療棟2階 時間外検査室
--------------	----------------

検査結果報告について

基準値設定材料・検査方法

基準値設定材料	随時尿/早朝尿
検査方法	試験紙（多波長反射光測定法）/吸光度法/屈折率法

生物学的基準範囲

		男性	女性	単位
51	比重	1.002 - 1.045	1.002 - 1.045	(単位なし)
52	pH	4.5 - 8.5	4.5 - 8.5	(単位なし)
53	蛋白 定性	(-)	(-)	(定性・判定)
54	糖 定性	(-)	(-)	(定性・判定)
55	ウロビリノーゲン 定性	(Normal)	(Normal)	(定性・判定)
57	ビリルビン 定性	(-)	(-)	(定性・判定)
58	ケトン体 定性	(-)	(-)	(定性・判定)
59	潜血 定性	(-)	(-)	(定性・判定)
62	白血球数（試験紙法） 定性	(-)	(-)	(定性・判定)
63	アルブミン 定性	***	***	(単位なし)
64	亜硝酸塩	(-)	(-)	(定性・判定)

尿一般物質定性半定量検査

[随時尿]

urinalysis, qualitative/semiquantitative

65	クレアチニン	***	***	mg/dL
71	蛋白 半定量	***	***	mg/dL
72	糖 半定量	***	***	mg/dL
73	ウロビリノーゲン 半定量	***	***	mg/dL
75	ビリルビン 半定量	***	***	mg/dL
76	ケトン体 半定量	***	***	mg/dL
80	白血球数（試験紙法）半定量	***	***	個/ μ L
81	アルブミン 半定量	***	***	mg/L
83	蛋白/クレアチニン比	0.15 未満	0.15 未満	g/g・Cr
84	アルブミン/クレアチニン比	30 未満	30 未満	mg/g・Cr
85	色調	淡黄色 ～ 黄褐色	淡黄色 ～ 黄褐色	(定性・判定)
86	混濁	(-)	(-)	(定性・判定)

基準値情報

緊急異常値

電話連絡対応

臨床的意義

尿検査は代表的な無侵襲検査である。なかでも尿定性・半定量試験紙法（尿試験紙法）は、検体の採取が容易であること、操作が簡便であること、さらに安価で多項目を同時測定できることから、最も一般的なスクリーニング検査として広く実施され、今では必要不可欠な検査となっている。尿試験紙法は患者の病態を推測する検査として、臨床の場において主に次の3通りの利用方法（検査目的）があると考えられる。

1）初診の患者や健康診断による病気を推測するためのスクリーニング検査としての利用。

0101	1A	990	001
------	----	-----	-----

尿一般物質定性半定量検査

[隨時尿]

urinalysis, qualitative/semiquantitative

[illegible]

異常値を示す病態・疾患

参考文献

變更履歷

Ver	文書更新日	内容
	変更適用日	
1	2008/04/01	制定
	2008/04/01～	
2	2010/03/10	検査機器・検査内容変更
	2010/03/15～	
3	2012/02/24	報告形式変更
	2012/01/04～	
4	2015/11/25	基準値変更
	2015/11/27～	
5	2016/04/25	平成28年度診療報酬改定
	2016/04/01～	
6	2018/04/06	平成30年度診療報酬改定
	2018/04/01～	

尿一般物質定性半定量検査

[随時尿]

urinalysis, qualitative/semiquantitative

7	2019/11/18	検査機器変更, 報告成分追加
	2019/11/11～	
8	2020/04/02	令和2年度診療報酬改定
	2020/04/01～	
9	2022/03/09	採取名称部分に検体搬送先を印字
	2021/12/09～	
10	2022/08/01	令和4年度診療報酬改定
	2022/04/01～	
11	2022/10/21	24時間測定可能項目として改訂
	2022/03/28～	
12	2022/12/01	受入不可基準などについて全面改訂
	2022/12/01～	
13	2024/06/04	令和6年度診療報酬改定
	2024/06/01～	